



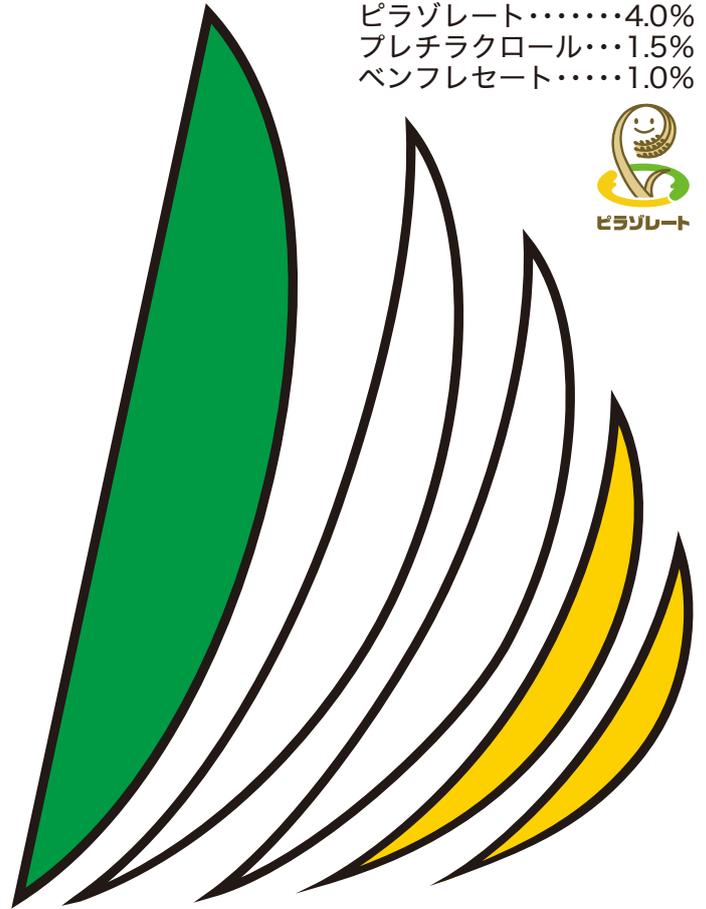
農林水産省「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に掲載された農薬です。

SU
抵抗性雑草にも…

ウリホス[®]粒剤10

水稲用一発処理除草剤

ジメタメトリン …… 0.20%
ピラゾレート …… 4.0%
プレチラクロール …… 1.5%
ベンフレセート …… 1.0%



3キロ剤

ノビエ



コナギ



ミズアオイ



ホタルイ



アゼナ類



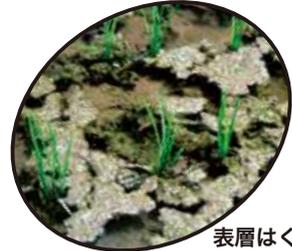
アメリカアゼナ



タケトアゼナ



アゼナ



表層はく雑



SU抵抗性雑草にも…ウリホス®粒剤 10

■有効成分：ジメタメトリン…0.20% ピラゾレート…4.0% プレチラクロール…1.5% ベンフレセート…1.0%

■人畜毒性：普通物*

*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

使用基準

2021年7月15日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当りの使用量	本剤の使用回数	ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数	ピラゾレートを含む農薬の総使用回数	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数	ベンフレセートを含む農薬の総使用回数	使用方法	使用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 ただし、移植後 30日まで	壤土～埴土	3kg	1回	2回以内	2回以内	2回以内	2回以内	湛水散布	東北、関東・ 東山・東海の 普通期及び 早期栽培地帯
	セリ(近畿・中国・四国) アオミドロ・藻類に よる表層はく離	移植後3日～ ノビエ2葉期 ただし、移植後 30日まで									北陸、近畿・ 中国・四国、 九州の 普通期及び 早期栽培地帯

使用時期



◎SU抵抗性雑草(アゼナ、ホタルイ、コナギ等)の発生地域では登録の範囲内でできるだけ早く使用してください。
◎雑草の発生消長にあわせ、適期に散布してください。

※北陸、近畿・中国・四国、九州はノビエ2葉期まで

体系での使用方法(東北のみ)



上手な使い方

●整地、代かきはていねいに!



●処理時の水深



●処理後の水管理



②止水管理中の入水は静かに行う。



水がなくなったら、水尻をしっかりと止め、通常の湛水深になるまで水を入れ、水口もしっかり止める(止水かんがい)

注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2.5葉期(北陸、近畿・中国・四国、九州は2葉期)までに時期を失しないように散布してください。なお、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果のフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミズガヤツリは発生前から発生始期まで、ウリカワ、ヘラオモダカは発生前から2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは発生前から発生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期ですが、できるだけ早く散布してください。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は特に代かきをていねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。

- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布してください。
- 下記のような条件では初期生育の抑制やクロロシが生ずるおそれがあるので使用を避けてください。特にこれらの条件と梅雨明けなどによる散布時又は散布後数日間の異常高温が重なると、初期生育の抑制が顕著になるので、そのような条件下では使用しないように注意してください。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植の水田
 - ④植付精度不良で根が露出する水田
- 活着遅延を生ずるような異常低温が予測されるときは、初期生育の抑制などが生ずるおそれがあるので、このような条件下での使用に際しては、県の防除指針に基づき、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する

- 場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 誤食などのないようご注意ください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記帳しましょう。

*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

*本印刷物は2021年7月15日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>